ONKYO®

コンパクトディスクプレーヤー

C-1VL

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

主な特長

■ デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する新回路、「VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現

■ デジタル出力信号が音質回路に与える影響を最小限に抑える独自の回路設計「Direct Digital Path」を採用、これまでにないクリアな音像と洗練された音質を再現

■ デジタル信号による影響を最小限に抑え、アナログ音質を向上させるためにデジタル出力Offが可能

■ Wolfson社製マルチビットD/Aコンバーターをアナログ L/Rに独立して搭載

■ 漏れ磁束が少なくレギュレーションの良いトロイダルトランス採用

■ 超高精度クロック発振器を採用

■ デジタルサーボを採用、ディスクごとに最適値のサーボ量を自動調整

■ デジタル出力端子として光2系統、同軸1系統

■ 削り出し金メッキピンジャック採用、L/R間が広く、極太仕様のピンコードの使用も簡単

■ IEC規格3P ACインレット装備

■ 真鍮製の端子とインシュレーター、振動に強く剛性の高いシャーシを使用

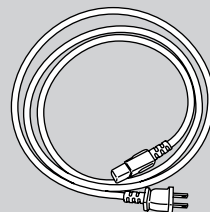
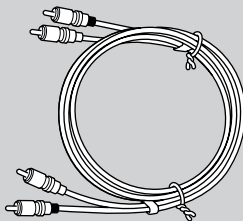
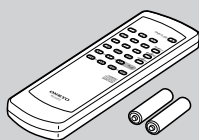
■ 高品位オーディオ用ピンコード付属

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

●リモコン(RC-544C) ...... (1)
●乾電池(単三形、R6) .... (2)

●オーディオ用ピンコード(60cm) ... (1)

●電源コード(2m) ..... (1)

●取扱説明書 .... （本書1）
●保証書 .... （1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 ...... （1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

目次

はじめに

接続をする

CDを再生する

その他

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスクの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
●お子さまがディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

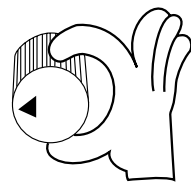
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクの取り扱いについて

●再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に右のマークの入ったものをご使用ください。

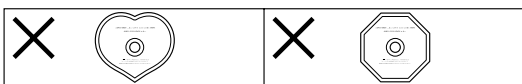
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

● 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

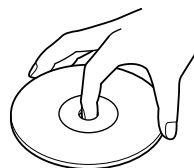
×	×

ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

デイスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って機器の故障の原因となることがあります。

● レンタルCDの注意について

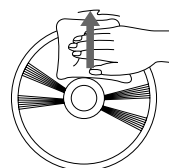
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

●取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

●お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

●保管上の注意について

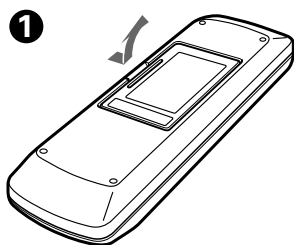
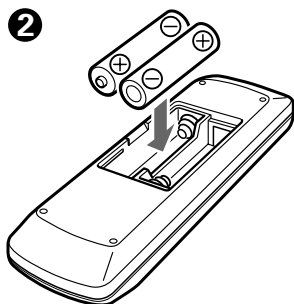
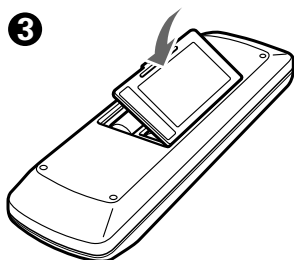
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところ、極端に温度の低いところや、湿度の高いところはさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

●結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

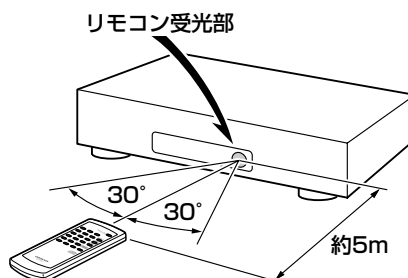
リモコンを準備する

乾電池を入れる

❶ カバーを矢印の方向に持ち上げてはずす。

❷ 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。

❸ カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

POWER(パワー)スイッチ
本機の電源をオン/オフします。

ディスクトレイ
ディスクをセットします。

▲(オープン/クローズ)ボタン
ディスクトレイを開閉します。

Ⅱ(ポーズ)ボタン
再生を一時停止します。

■(ストップ)ボタン
再生を停止します。

▶(プレイ)ボタン
ディスクを再生します。

DISPLAY(ディスプレイ)ボタン
表示部の表示を切り換えます。

表示部
（次ページ参照）

⏮/⏭ボタン
曲の頭出しをします。
押し続けると、早戻し/早送りをします。

DIGITAL(デジタル) OUTPUT(アウトプット)ボタン
本機のデジタル出力をオン/オフします。

後面パネル

AUDIO(オーディオ) OUTPUT(アウトプット)(ANALOG(アナログ))端子
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

AC INLET(インレット)
付属の電源コードを接続します。

AUDIO(オーディオ) OUTPUT(アウトプット)(OPTICAL(オプティカル)/COAXIAL(コアキシアル))端子
市販のオーディオ用光デジタルケーブルや同軸デジタルケーブルを使って、アンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。
3つの端子は、同じデジタル音声を出力します。
これらの接続をするときは、本機前面パネルのDIGITAL(デジタル) OUTPUT(アウトプット)ボタンを「ON(オン)」にする必要があります。

表示部

TOTAL/REMAIN表示（トータル リメイン）
再生中の曲の残り時間が表示されているときは「REMAIN」が、ディスクの残り時間が表示されているときは「TOTAL REMAIN」が点灯します。

⊂⊃表示（リピート）
リピート再生するときに点灯します。

RANDOM表示（ランダム）
ランダム再生するときに点灯します。

MEMORY表示（メモリー）
メモリー再生が設定されているときに点灯します。

TOTAL REMAIN ⊂⊃ RANDOM MEMORY

▶表示（プレイ）
ディスクを再生するときに点灯します。

Ⅱ表示（ポーズ）
一時停止中に点灯します。

トラックナンバー表示部
ディスクの再生トラック、総トラックなどを表示します。

時間表示部
ディスクの再生時間、残り時間などを表示します。

リモコン（RC-544C）

OPEN/CLOSE▲ボタン（オープン クローズ）
ディスクトレイを開閉します。

数字ボタン
選曲をします。

■ ボタン（ストップ）
再生を停止します。

Ⅱボタン（ポーズ）
再生を一時停止します。

▶ボタン（プレイ）
ディスクを再生をします。

◀◀/▶▶ボタン
早戻し、早送りをします。

I◀◀/▶▶Iボタン
曲の頭出しをします。

REPEATボタン（リピート）
再生中に押すと「くり返し再生」になります。

RANDOMボタン（ランダム）
「ランダム再生」を始めます。

MEMORYボタン（メモリー）
好きな曲順に再生するように記憶させます。

CLEARボタン（クリア）
記憶させた最後の曲を取り消します。

OPEN/CLOSE
1 2 3
4 5 6
7 8 9
>10 10/0 CLEAR
REPEAT
RANDOM
MEMORY
PLAY
ONKYO
RC-544C

オンキヨー製インテグレーテッドステレオアンプA-1VLに付属のリモコン(RC-573A)でも本機を操作することができます。

▶PLAYボタン（プレイ）
ディスクを再生をします。

■ボタン（ストップ）
再生を停止します。

Ⅱボタン（ポーズ）
再生を一時停止します。

◀◀/▶▶ボタン
早戻し、早送りをします。

I◀◀/▶▶Iボタン
トラックの頭出しをします。

CD
PLAY

接続をする

■ 接続の前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。

左(白)　左(白)
右(赤)　右(赤)

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

差し込み不完全
奥まで差し込んでください

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

光デジタル出力端子について

本機の光デジタル出力端子には、保護キャップが取り付けられています。
接続時は取りはずして、大切に保管してください。端子を使用しない場合は、必ずキャップを元どおりに取り付けてください。

音声ケーブルと端子の種類		
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形
オーディオ用ピンコード（本機に付属）		R L
	アナログ音声を伝送します。本機のAUDIO OUTPUT ANALOG端子は、Wolfson社製のマルチビットD/AコンバーターをL/R独立して搭載しています。	
光デジタルケーブル（OPTICAL（オプティカル））		OPTICAL
	デジタル音声を伝送します。音質はCOAXIALと同レベルです。MDレコーダーやCDレコーダーなどと接続します。	
同軸デジタルケーブル（COAXIAL（コアキシャル））		COAXIAL
	デジタル音声を伝送します。音質はOPTICALと同レベルです。MDレコーダーやCDレコーダーなどと接続します。	

本機はAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子とAUDIO OUTPUT DIGITAL（デジタル）端子（OPTICAL（オプティカル）/COAXIAL（コアキシャル））の3種類の音声出力端子を装備しています。
お手持ちのアンプや録音機器などに合わせて、必要な接続をしてください。

アンプや録音機器とアナログ接続をする

アナログ音声をお楽しみになるときや、アナログ録音をするときは、この接続をしてください。

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG端子と、アンプや録音機器のアナログ音声入力端子を接続します。

例：オンキヨー製アンプとの接続

C-1VL

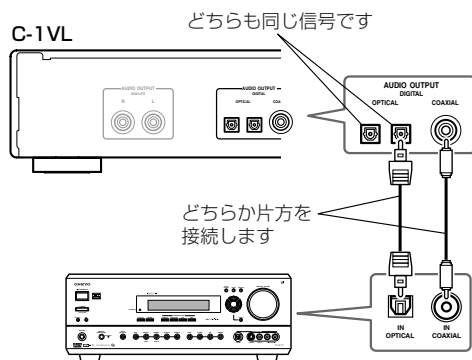
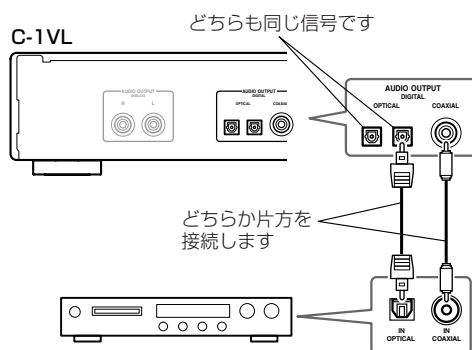
AUDIO OUTPUT ANALOG
R L
赤 白
白 赤
CD
L R

アンプや録音機器とデジタル接続をする

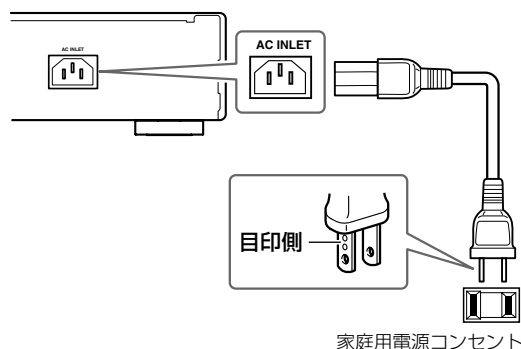
デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、この接続をしてください。
本機には、OPTICALとCOAXIALの2種類のデジタル音声出力端子がありますので、どちらか1つ接続してください。
● OPTICAL端子はどちらも同じ信号を出力します。
本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL(OPTICAL/COAXIAL)端子と、アンプや録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。

デジタル接続時のご注意

デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、DIGITAL OUTPUT(デジタル アウトプット)ボタンを「ON」にしておく必要があります。

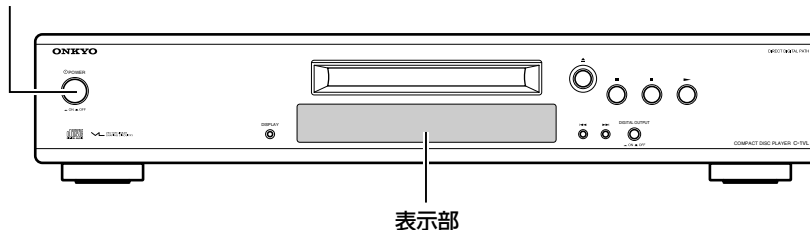
例：オンキヨー製AVセンターとの接続

例：MDレコーダーなどの録音機器との接続

電源コードを接続する

電源コードを接続する前に
すべての接続が完了していることを確認してください。また、本機のPOWER(パワー)スイッチが「OFF(オフ)▇」になっているか確認してください。
付属の電源コード以外は使用しないでください。この電源コードは本機専用です。
家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態でAC INLETから電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
本機の電源を入れると，瞬間的に大きな電流が流れてコンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

よりよい音で聞いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

電源を入れる

電源を入れる

パワー
POWERスイッチ

表示部

POWERスイッチを押して、「ON ▂」にする

電源が入り、表示部が点灯します。

電源を切るには

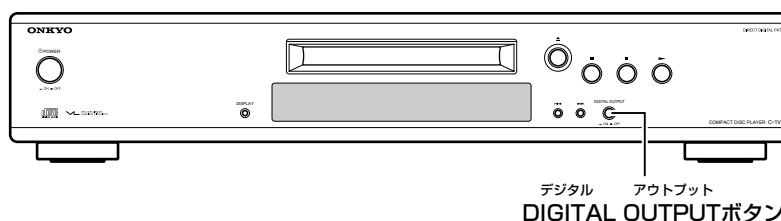
もう一度POWERスイッチを押して、「OFF █」にします。電源が切れ、表示部が消灯します。

！ヒント

一般的に電源を入れるときは、再生機器（C-1VL）からアンプの順で入れると、スピーカーに負担がかかりにくくなります。同様に電源を切るときは、アンプから再生機器の順で切ることをお勧めします。

デジタル出力の設定をする

アナログ音声をより良い音で再生していただくために、お買い上げ時、本機のデジタル音声出力の設定は「オフ」になっています。

AVセンターやMDレコーダーなどと接続してデジタル再生、デジタル録音する場合は、DIGITAL OUTPUTボタンを「ON ▂」にしてください。

デジタル　アウトプット
DIGITAL OUTPUTボタン

DIGITAL OUTPUTボタンを押して、「ON ▂」または「OFF █」にする

ON ▂ ：デジタル音声を出力します。AVセンターや録音機器などと接続してデジタル再生、デジタル録音をするときは、この位置にしてください。

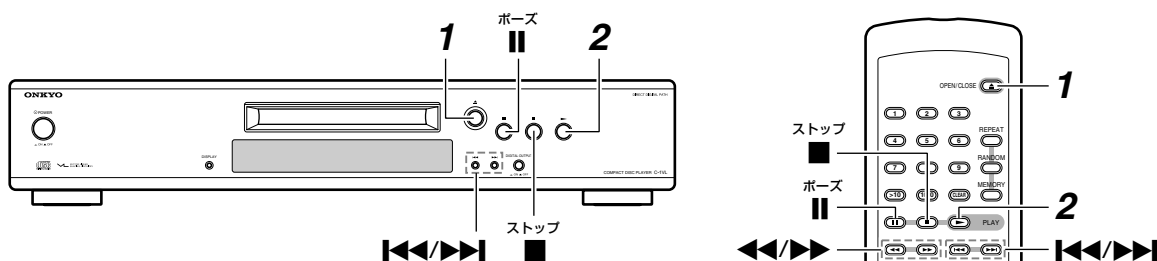
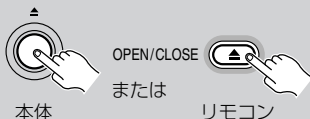
OFF █ ：デジタル音声は出力されません。アナログ回路への影響を軽減し、より良い音質でアナログ再生ができます。

CDを再生する

通常の再生をする ➡ このページ
好きな曲順に再生したい ➡ メモリー再生（16ページ）
順不同に再生したい ➡ ランダム再生（17ページ）
全曲をくり返して再生したい ➡ リピート再生（17ページ）
1曲だけくり返して再生したい ➡ メモリー再生＋リピート再生（16、17ページ）

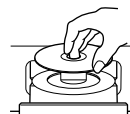
1　ポーズ Ⅱ　2
I◀◀/▶▶I　ストップ ■
OPEN/CLOSE　1
ストップ ■
ポーズ Ⅱ
2
◀◀/▶▶　I◀◀/▶▶I

1

本体　または　OPEN/CLOSE リモコン

▲（オープン/クローズ）ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。

CD をディスクトレイにセットする
印刷面を上にしてディスクトレイの上に置きます。
8cmCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

2

本体　または　リモコン

▶（プレイ）ボタンを押す

ディスクトレイが閉じ、再生が始まります。
● ▲ボタンでディスクトレイを閉じたときは、再生は始まりません。

再生を止めるには
■（ストップ）ボタンを押します。

ディスクを取り出すには
▲ボタンを押します。

再生を一時停止する

本体　または　リモコン

Ⅱ（ポーズ）ボタンを押す

表示部にⅡ（ポーズ）表示が点灯します。
もう一度押すか、▶（プレイ）ボタンを押すと、一時停止したところから再生が始まります。

早送り/早戻しをする

本体　または　リモコン

本体のI◀◀/▶▶Iボタンまたはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押し続ける

本体のI◀◀ボタンまたはリモコンの◀◀ボタンは早戻しとなり、本体の▶▶Iボタンまたはリモコンの▶▶ボタンは早送りとなります。

聞きたい曲を選ぶ

本体　または　リモコン

I◀◀/▶▶Iボタンを押す

再生中にI◀◀ボタンを1回押すと今聞いている曲の頭に戻り、続けて2回押すと前の曲に戻ります。▶▶Iボタンを押すと次の曲に進みます。
停止中は▶（プレイ）ボタンを押すと再生が始まります。

聞きたい曲を指定する リモコン

リモコンの数字ボタンを押して曲番を指定する

指定した曲の再生が始まります。

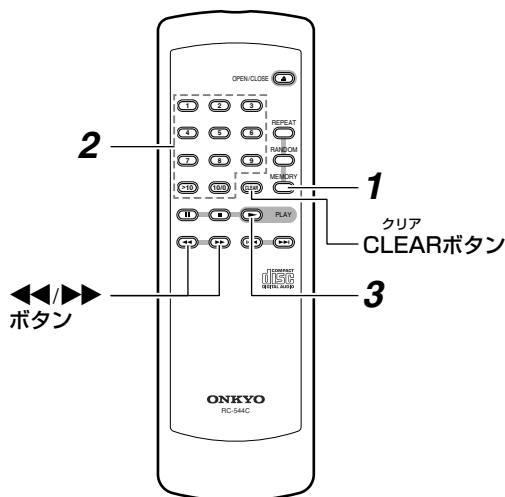
！ヒント

10曲目を選ぶには 10/0 を押します。
12曲目を選ぶには >10、1、2 と押します。
20曲目を選ぶには >10、2、10/0 と押します。

C-1VL(14-E<20>)(SN29343543A)　15　04.7.21, 11:55 AM

予約再生する(メモリー再生) リモコン

ディスクの中の聞きたい曲を選び、聞きたい順に再生します。
予約できる曲数は25曲までです。

2
1
CLEAR(クリア)ボタン
◀◀/▶▶ボタン
3

1 停止中にMEMORY(メモリー)ボタンを押す

表示部のMEMORY表示が点灯します。

2 数字ボタンで聞きたい曲を選ぶ

ボタンを押すたびに予約に追加されます。

10曲目以上を選ぶには

10曲目：10/0を押します。
12曲目：>10、1、2と押します。
20曲目：>10、2、10/0と押します。

！ヒント

I◀◀/▶▶Iボタンでも予約曲を選ぶことができます。この場合は、予約曲を選んでから、MEMORYボタンを押してください。

3 ▶(プレイ)ボタンを押し、再生を始める

メモリー再生が始まります。

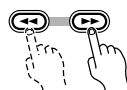
メモリー再生を止めるには

■(ストップ)ボタンを押してください。このとき予約内容は記憶されています。

予約を間違えたときは

CLEAR(クリア)ボタンを押す

押すたびに最後の予約曲から順に取り消されます。

予約を確かめるには

メモリー再生停止中に◀◀/▶▶ボタンを押す

◀◀/▶▶ボタンを押すたびに予約順に予約内容が表示されます。

すべての予約を取り消すには

MEMORYボタンを押す

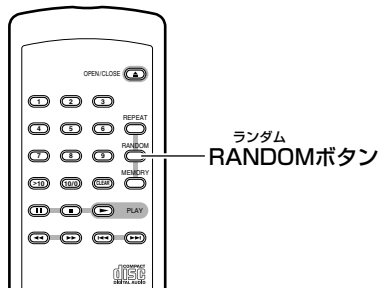
予約がすべて取り消され、メモリー再生は解除されます。

- メモリー再生＋ランダム再生中は、ランダム再生を解除してから予約を取り消してください。
- ▲(オープン/クローズ)ボタンでディスクトレイを開くと、予約はすべて取り消されます。

！ヒント

再生中の予約について

- 通常再生中にMEMORYボタンを押すと、再生中の曲が1曲だけ予約されます。
- メモリー再生中は、数字ボタンで予約を追加することができます。

順不同に再生する(ランダム再生) リモコン

ランダム
RANDOMボタン

RANDOMボタンを押す

表示部のRANDOM表示が点灯し、ディスクに入っている全曲を順不同に並べ変えて再生します。

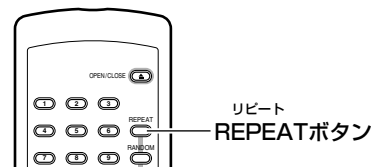
通常の再生にもどすには
もう一度RANDOMボタンを押すか、■(ストップ)ボタンを押して一度再生を停止してから、►(プレイ)ボタンを押します。

！ヒント

ランダム再生中は
曲間に自動的に3秒間の無音部分が入ります。

メモリー再生＋ランダム再生では
予約曲を指定してRANDOMボタンを押すと、予約曲だけを順不同に並べ変えて再生します。

ご注意
ランダム再生中に⏮ボタンで前の曲に戻ることはできません。

くり返し再生する(リピート再生) リモコン

リピート
REPEATボタン

REPEATボタンを押す

再生中に押すか、または停止中に押してから►(プレイ)ボタンを押します。

- 全曲再生し終わったら、ディスクの始めに戻ってくり返し再生します。

リピート再生を解除するには
REPEATボタンを押して、表示を消します。

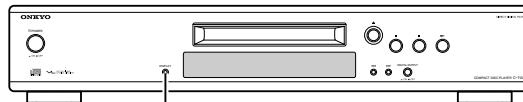
！ヒント

1曲だけをくり返すには
先にくり返したい曲を予約（16ページ）して、リピート再生します。

メモリー再生＋リピート再生では
予約曲だけが予約順にくり返し再生されます。

ランダム再生＋リピート再生では
全曲の再生が終了するたびに、あらためて順序を入れ替えて、くり返し再生されます。

表示部の情報を切り換える 本体

再生中に本体のDISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

ディスプレイ
DISPLAYボタン

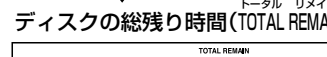
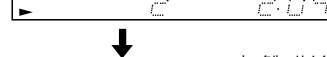
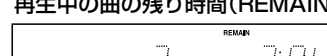
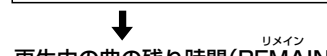
再生中にDISPLAYボタンを押す

ボタンを押すたびに表示部の情報が次のように切り換わります。

例：2曲目再生中

再生中の曲の経過時間
2 3:18

再生中の曲の残り時間(REMAIN)
REMAIN 2 2:04

ディスクの総残り時間(TOTAL REMAIN)
TOTAL REMAIN 2 65:23

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
● 文章の最後にある数字は参照ページです。

電　源 　参照ページ

電源が入らない
● 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。　P13

ディスクの再生

ディスクの再生ができない
● ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
ディスクの印刷面を上にしてディスクトレイに置いているか確認してください。　P15
● ディスクは汚れていないか確認してください。　P8
● 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。　P8
● 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。　P8

ディスクの再生順序通りに再生できない
● リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。　P16〜17

選曲時間(指定の曲を探し出す時間)が極端に長い
● ディスクが汚れていませんか？ディスク表面をクリーニングしてください。ディスクにキズがある場合、ディスクを取り替えてください。　P8

曲をメモリーさせることができない
● ディスクは正しくディスクトレイにセットされていますか？ディスクにない曲番をメモリーさせようとしていませんか？　P16

メモリー再生/解除ができない
● ランダム表示は点灯していませんか？RANDOMボタンを押してランダム再生を解除してからメモリー再生/解除を行ってください。　P17

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する
● 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

音　声

再生しているディスクの音声が出てこない（アナログ接続、デジタル接続共通）
● 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。　P12〜13
● 接続した機器の入力端子や入力設定を間違えていないか確認してください。
● アンプのボリュームが最小になっていないか確認してください。

再生しているディスクの音声が出てこない（デジタル接続）
● DIGITAL OUTPUTボタンはOFFになっていませんか？デジタル接続しているときは、DIGITAL OUTPUTボタンを「ON」にしてください。　P14

雑音が出る
● 他のデジタル機器から影響を受けている可能性があります。一度、周辺機器の電源スイッチを切って、雑音源を確かめてみてください。そのうえで本機を雑音の出る機器から離してください。

リ　モ　コ　ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない
● 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。　P9
● リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？　P9
● 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？　P9
● オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、正常に機能しないことがあります。　P9

● 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、POWER（パワー）スイッチを「OFF（オフ）■」にして、約5秒後にあらためて「ON（オン）▬」にしてください。

● 製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

主な仕様

電　源　・　電　圧	AC100V、50/60Hz
消　費　電　力	9W
最　大　外　形　寸　法	435（幅）×82（高さ）×356（奥行）mm
質　　　量	6.7kg
許容動作温度/湿度	5～35℃/5～85%（結露のないこと）
再生可能ディスク	CD
周　波　数　特　性	5Hz～20kHz
S　N　比	110dB
ダイナミックレンジ	96dB
全　高　調　波　歪　率	0.002%
出力電圧/インピーダンス	−22.5dBm（光デジタル出力） 0.5Vp-p/75Ω、（同軸デジタル出力） 2.0V（rms）/320Ω（アナログ出力）

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　C-1VL
▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

C-1VL(14-E<20>)(SN29343543A)　19　04.7.21, 11:55 AM